

社会資本総合整備計画 事後評価書														
計画の名称	中津川市における汚水処理対策の推進（重点計画）													
計画の期間	平成 3 0 年度 ~ 平成 3 1 年度 (2年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	中津川市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		1,651	A	1,651	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H30末	H31末
1	下水道処理人口普及率を58.9%（H28末）から63.0%（H31）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	59%	61%	63%
	下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）			
2	坂本処理区における面整備率を35%（H28末）から53%（H31）に増加させる。			
	坂本処理区の面整備率	35%	44%	53%
	整備済（面積）/全体計画面積（面積）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	管渠（ 汚水）	新設	青木・小向・地藏堂・共 栄区他面整備（未普及対 策）	= 200mm L=6km	中津川市						609		-
	A07-002	下水道	一般	中津川市	直接	中津川市	管渠（ 汚水）	新設	第1幹線・坂本・与ヶ根・ 二軒家地区面整備（未普 及解消）	150-300 L=8 k m	中津川市						1,042		-
											小計						1,651		
											合計						1,651		

事 後 評 価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

中津川市下水道課内にて実施

事後評価の実施時期

R 2 . 8 月

公表の方法

中津川市ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水道処理人口普及率については目標とおりの普及率が達成できた。
- ・坂本地区の面整備率については計画面積の変更もあり目標達成が出来なかった、今後も整備率の向上に努めたい。

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

- ・下水道処理人口普及率については今後も向上に努めてゆく。
- ・坂本地区の面整備率については中核工業団地、区画整理区域の取り込みをめざして今後も取り組んでゆく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）		
	最 終 目標値	63%	総人口の減少による普及率の増
	最 終 実績値	68%	
2	整備済（ h a ） / 全体計画面積（ h a ）		
	最 終 目標値	53%	事業計画変更により整備計画面積が増したことによる整備率の減
	最 終 実績値	37%	